

早期に新病院への公共交通アクセスを! 「のびのび園庭グリーン事業」の評価は!

—市議会9月定例会での高橋美博議員の一般質問から

公共施設マネジメント事業について

公共施設マネジメント事業とは一公共施設を通じて行なわれる行政サービスの内容、行政サービスのコスト、建物の状況や利用状況、運営状況などを、コスト情報・ストック情報の両面から実態を調査し改修計画や維持管理計画に活用するもの。習志野市や藤沢市など多くの自治体で白書を作成、市民参加での施設のあり方の検討などをすすめている。

問 袋井市は、これまでに教育施設整備10ヵ年計画、幼児教育施設整備計画などが出され、9月議会に今後のスポーツ施設整備方針が出される予定と、市として統一性がかけていると考えるがどうか。この公共施設マネジメント事業を取り入れる考えはないか。

答 現在、維持コストの低減や更新時期の平準化を図るようそれぞれの施設ごとの点検を行い、劣化による修繕必要箇所の把握、長寿命化計画や整備方針の策定に取り組んでおり同様の目的を達成できている。

市の責任で公共交通アクセスを図るべき

問 平成25年春の新病院開院までの期間が迫っている。利用の面での検討も必要ではないか。市は公共交通アクセスをどう考え、どう取り組んでいくのか。

答 新病院建設事務組合の事務局が両市の調整役となり、民間路線バスや自主運行バスによる運行など、運行手段や運行ルートを検討し、開院に合わせてアクセスを確保していく。

問 新病院は利用者用の駐車スペースが730台と多く確保されているが、マイカーによる利用だけでなく公共交通での利用者を予測し対策も必要ではないか。

答 袋井市民の利用は全体の4割程度(入院150人・外来400人/日)と見込んでいる。マイカーによる利用者が370人から400人、バス・タクシー等の利用者は70人前後と考えられ、お見舞いの人も合わせれば100人程と思われる。

公共交通最適化事業で何を検討するのか

問 「自主運行バスのあり方や生活バス路線維持など公共交通のあり方を検討し、対応する事業」とのことだが、どのようにすすめるのか。

答 現状の民間路線バスや自主運行バスに対する利用需要の変化など、課題整理を行い、「袋井市地域公共交通会議」を開き、23年度中に望ましい交通体系のあり方の検討を進めていく。

問 自主運行バスは、昨年11月に路線・運行回数の変更が行なわれたが、市民に大変不評で利用が大幅に減っている。早急な見直しが必要ではないか。

答 来年4月からの抜本的見直しをすすめている。議会にも新ルート案を示し協議する。

問 生活バス路線維持のための補助額が昨年度は1513万円と年々増加している。その多くが学童の通学に利用されている路線だが、こうした路線の見直しもあるのか。

答 今後も通学の足として運行維持を図っていく。袋井南小学校・高南小学校区については学区再編に合わせ望ま

しい路線の設定を進める。

問 学校での社会見学等への足として市のマイクロバスの利用は出来ないか。

答 去年は61件の利用があった。新しく「特宣隊事業」で購入したマイクロバスを含め利用を図っていく。

総合福祉センターの検討を

問 磐田市には「iプラザ」、掛川市には「あいりーな」、森町には「望月プラザ」というように行政の福祉関係窓口と社協など福祉団体を同じスペースに配置した施設がある。市の必要性についての認識はどうか。

答 社協などの福祉団体と連携し、きめ細かな福祉サービスの供給体制構築は大切であり、総合的な福祉施設の整備が必要と認識している。現在「袋井市保健・医療・介護構想」の策定を進め、総合的な健康支援システムの拠点として(仮称)総合健康センターを整備することとしており、総合福祉センターもこの作業と合わせ検討していく。

高齢者などの熱中症への対策はどうか

問 今年度は異常な猛暑で熱中症患者が続出したが。

答 市内の救急搬送は34人で、幸い死者はなかった。

問 熱中症患者の多くが高齢者で、特に低所得者が犠牲となっている。生活保護世帯へのクーラー設置や電気料金への支援は出来ないか。

答 国の生活保護実施要領には規定はない。電話連絡や家庭訪問などで注意を促している。

来年も3幼稚園で園庭の芝生化実施

問 今年度若葉・高南・田原の3幼稚園で園庭芝生化が実施されているがその評価と課題はどうか。

答 職員や保護者・園児と一緒にポット苗を移植する「鳥取方式」を採用し事業費が抑えられ、日常管理もタイマー式の自動散水機を導入して負担の軽減を図った。NPOの指導もあり順調に進んでいる。次年度も3幼稚園で実施する予定である。

問 私立の幼稚園等の園庭芝生化への助成はどうか。

答 今後、検討していきたい。

問 小学校校庭の芝生化についてどう考えているか。

答 児童数が多い上、運動量も多く芝にダメージがある。養生のため利用制限の問題など広い面積での維持管理には多くの労力や費用がかかることから現段階では小学校への導入は考えていない。

イ/シシ被害防止対策費計上 6月議会で取り上げ早速箱わな2基の購入費16万6千円、防護柵設置補助金50万円が9月補正予算に計上されました。

日本共産党
袋井市議団ニュース
発行 2010年9月23日